

## 1 題材名

『源頼朝に賭けた！・・・千葉常胤の思惑』 <1年生 歴史分野 「封建制度」>  
～頼朝と常胤から見る封建制度の内実～

## 2 授業のねらい

- ① 歴史上の有名人である源頼朝が千葉常胤を父のように慕っていた、という話は残念ながら全国レベルにはなっていません。千葉常胤が鎌倉幕府の成立に大きく貢献した事実を知らせます。
- ②しかし、平氏一族の千葉常胤がなぜ源氏である源頼朝の味方となったかを疑問に思うのは当然のことです。「封建制度」の内実や武士団の本音を踏まえながら、その謎を解決する授業です。
- ② 千葉氏の実績を学習することで、開府900年（2026年）の歴史と郷土千葉市への理解と関心を深めたいと思います。

## 3 指導計画上の位置付け

◇1時間扱い

◇第3章：中世の日本 1節：武士の政権の成立 の鎌倉幕府成立の前後で扱える内容です。

## 4 予想される授業の流れと指導資料

- ①常胤の人物像および頼朝との関わりを資料で確かめます。
  - \* 千葉氏でもっとも有名、大きな功績  
千葉常重の子、頼朝の信頼、幕府成立に貢献、幕府で大切な役目 など
  - \* いつからのどの程度の知り合いなのか？  
保元・平治の乱、源義朝との主従関係 など
- ②なぜ常胤は頼朝を支えようとしたのか？を考えます。
  - \* 平忠常の乱以降、東国は源氏寄りの趨勢
  - \* 貴族化・専制化して東国に圧力をかける平氏への不満
  - \* (窮状にあえぐ)千葉氏復活のチャンス！
  - \* 頼朝が勝利すれば、それなりの見返りが・・・ など
- ③封建制度について内容を確認します。
  - \* 主従関係、御恩と奉公 など
- ④常胤以降の時代、千葉氏が幕府で最も有力な御家人(筆頭御家人)となったことなどを資料で確認します。
  - \* 全国に広がる所領
  - \* 評定衆に就任 など

<活用する主な資料>

- ◎千葉常胤と鎌倉幕府の成立－東国武士と武家政権（本館特別展図録）
- ◎まんが『千葉常胤公ものがたり』（千葉市作成）
- ◎『千葉氏入門 Q&A』（本館作成のブックレット）
- ◎伸び行く千葉市 ◎市教委教育指導課作成の千葉氏関連資料

## 5 指導上の留意点、その他

- ◇千葉氏の学習のメインとなる千葉常胤ですが、ここでは千葉氏を一つの教材として扱い、封建制度の本質をとらえる学習を行います。
- ◇内容の（4）③では、生徒に十分な思考を促す必要があります。そのために資料を工夫して組み立てたいと思います。